

5年生の学習到達目標

- (1)造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。
 (2)材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。
 (3)作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にするようにする。

5年生の学習内容

学期	学習のねらい	単元名	学習内容
1 学 期	<p>絵が立体作品に変わる面白さを鑑賞します。</p> <p>材料や場所の特徴から、つくりたいものをみんなで話し合い考えます。つくる手順や丈夫な組み立て方、装飾の仕方などについて工夫していきます。固めるための布などの材料を集めます。粘土に色を混ぜたり、他の材料と組み合わせたりします。</p> <p>絵の具や筆の使い方、描画材の組み合わせ方など、表現の方法を工夫します。</p>	<p>みんなの夢が彫刻になったよ！</p> <p>ダイナミック スペース 木を組んで</p> <p>トローリかたまれ</p> <p>こんなとき感じる こと、思ったこと</p>	<p>それぞれの作品のアイデアの面白さや、形や色がどのように立体化されているか話し合います。 楽しい飾りや丈夫さを考えてつくります。</p> <p>つくったもので遊んだり、交流したりして、作品のよさを十分味わいます。 粘土に絵の具を混ぜて色を変化させ、材料の特徴や面白さに気づき、つくりたいものを思いついていきます。 固めるための布などの材料を集めます。 粘土に色を混ぜたり、他の材料と組み合わせたりしていきます。 生活を振り返って夢中になったときや、心に感じた場面を思い起こします。 スケッチしたりして思いが伝わるように、画面構成をします。</p>
2 学 期	<p>材料を組み合わせ、試しながらデザインした形になるように工夫していきます。</p> <p>アニメーションボックスの仕組みを知り、どんな場面にするか考えます。刷ってから、後で裏から色をつける木版の表し方をしります。</p>	<p>ゲートをぬけて ゴールイン</p> <p>動くよ動く絵が動く、アニメーション ボックス ほって刷って 刷ったものに、色を たすと</p>	<p>材料の特徴を生かした組み合わせ方や加工、接着などを工夫します。 次々に変わり、楽しく動く場面の流れを構成し、下がきしてから着色します。 自分の表したい場面を決め、配色などを考えて下絵をかきます。</p>
3 学 期	<p>教科書の作品などを見て、その面白さについて話し合います。</p> <p>できた形や空間から、つくりたいものを想像していきます。</p> <p>光を当てる仕組みを知ります。仕組みを生かす材料や方法、表し方</p>	<p>きょうかしよびじ ゆつかん 【よく見てみると】</p> <p>曲げてねじって</p> <p>光とかげ 光を当てると</p>	<p>それらが、なぜ不思議に見えるのかを発表し合います。</p> <p>粘土を板にして、自由に曲げたりねじったり、切り取ったりします。 つくりながら光を当てて、試しながら製作を進め、粘土の場合は形を決めてから乾燥させ</p>

期	を試しながら構想を練っていきます。 電動系のこぎりなどの、木工機械や 用具を安全に使っていきます。	板を切り抜いて 輪投げだワッ	色をします。 一枚の板からできるパーツを 生かして、輪投げができるジグ ソーパズルを考える。
---	---	-------------------	---

5年生の評価

図画工作では、「造形への関心・意欲・態度」「発想や構想の能力」「創造的な技能」「鑑賞の能力」

の四つの観点で評価します。

造形への関心・意欲・ 態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をする。表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。	表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。	造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。

次のような方法で見っていきます。

・制作態度 ・作品 ・感想 ・発表

おうちの方へお願い

- ・時々美術館へ連れて行ってあげてください。
- ・丁寧に作業させる経験をさせてください。
- ・良いところを見つけてほめてあげてください。
- ・身近なところから身近でないところまで、関心を持つ範囲を広げてください。